

特集・ものづくりのまち南丹市

くらしに根付く「ものづくり」 ものづくりからはじまる「まちづくり」

豊かな風土を生かした南丹市の「ものづくり」。今、この「ものづくり」の魅力が、新たな「まちづくり」の活力として注目を集めています。暮らしのさまざまな場面に根付いているもの、創り出されるもの、受け継がれるもの…。

二月二日・三日に開催した『「美」と「和」で「輪」ぶ 南丹文化ジョイントプログラム二〇〇七』の様子とあわせて、南丹市の「ものづくり」文化の一翼を担う「京都伝統工芸大学校」と「京都新光悦村」を紹介します。

南丹市ならではの文化祭
—南丹文化ジョイント
プログラム二〇〇七—

平成二十三年に国民文化祭が京都で開催されます。そこで、「南丹市ならではの国民文化祭」に向けた意識の高揚を図るため、二月二日・三日に『「美」と「和」で「輪」ぶ 南丹文化ジョイントプロ



▲各学校から出展があった南丹美術工芸教育展

